

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

# 遠野広域経済圏の構築を図り 賑わいのあるまちの再生を



菊池 民彌 議員  
(正心会)

**問** 政権交代に伴う事業仕分けにより、市予算への影響は。

**答** 当市の対象事業数は、おおよそ30件程度であり、農林関係事業が多い。地方交付税が減額されず安心だ。

**問** 平成23年供用開始するとしている給食センターの建設予算の計上は。

**答** これまで整備については、有利な財源をどう確保するのか試行錯誤している。検討経過から、全国

公募での事業実施となる。建設工事の地域雇用、資材等が中央に流れることが予想され、地域経済へ与える課題が多いことから検討が必要である。検討委員会を設置し、この1年間センターのあり方について情報共有と課題を整理し、早急な対応をする。

**問** 納税貯蓄組合奨励費予算が、昨年度に比較し、倍以上の予算となっている。その要因はなにか。

**答** 納税貯蓄組合は、納税思想の普及や地域づくり等に貢献する団体である。補助金の使途の拡充と事務負担の軽減を図るため、新年度から補助金方式を委託方式に移行し、組合加入率減

少に歯止めをかけ、組合活動の活性化を図る。予算の増は、21年度分補助金と本年度委託料が含まれる。

**問** 遠野広域経済圏構想の具現化について。

**答** 圏域という枠組みの概念を超え、沿岸部と内陸部の中継地として、地理的条件を活かした制限のない地域連携を図り、内陸・沿岸と本市を結ぶ道路整備の進展に併せ、人、もの、情報が行き交い、活力あるまちづくりを進め、色んな場面で存在感を示し、時期逸しないよう展開していく。

**問** 産直について、農業振興と食育の観点からの評価は。

**答** 産直は、農業収入の増加、地域の活性化に非常に重要であると認識している。学校給食にも野菜を供給している。

**問** 上郷産直の設置のメドは。場所の決定はいつ

ごろか。

**答** 上郷産直組合と協議を重ね、構想を深めている。施設の規模、建設費、場所の位置づけ、販売計画、メニューの他の産直との差別化を進め、今年中の事業にしたい考えだ。



活力あるまちづくりを！